

2025 年 5 月 19 日

各 位

会 社 名 K u d a n 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 項 大 雨
(コード番号 4425 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 中 山 紘 平
(T E L . 0 3 - 6 8 9 2 - 7 3 3 3)

2025 年 3 月期 通期決算説明に関する質疑応答内容の公開のお知らせ

当社は、2025 年 5 月 16 日、投資家・アナリスト向け決算説明会を開催いたしました。投資家の皆様にタイムリーに情報を開示するべく、質疑応答内容を本リリースにテキストにて公開いたします。また、決算説明動画や決算説明スクリプト URL を以下に再掲しておりますので、あわせてご確認いただきますようお願い申し上げます。

【2025 年 3 月期通期 機関投資家・アナリスト向け決算説明会】

1. 開催日時：2025 年 5 月 16 日（金）
2. 説明者：代表取締役 CEO 項 大雨
取締役 CFO 中山 紘平

▼▼決算説明動画はこちらからご確認いただけます▼▼

https://youtu.be/44_AbzkJns

▼▼決算説明スクリプトはこちらからご確認いただけます▼▼

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS02977/3fe5a846/f010/44eb/860f/e21aac4eb564/140120250513548241.pdf>

▼▼決算説明資料はこちらからご確認いただけます▼▼

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS02977/ec6870bf/afdd/4e62/be3a/63508d5d33dc/140120250513548234.pdf>

【質疑応答内容】

1. 他社の商業利用されているロボットは増えてきていると感じますが、Kudan のターゲットとしている市場とは異なるのでしょうか？

市場で普及が始まっている他社製のロボットは、例えばレストランの配膳ロボットに代表されるように、2次元センサを使用し、制限された屋内環境でのみ自律移動が可能なものが中心です。これら2次元センサを利用するロボットは、将来期待されるロボット市場全体の約5%程度と見積もられています。

残りの95%のロボット市場は、より3次元的に複雑な環境、変化が激しい環境、屋内外や不整地といった環境、さらには人や物が大きく動き回る環境など、より難易度の高い自律移動が求められます。当社は、そのような高度な技術を要するロボット市場に注力しております。この市場は、今後本格的に立ち上がることが期待されております。

2. 来期2027年3月期の業績見通しについて教えてください

まず初めに当期の業績についてですが、前期の業績からの拡大を見込んでおります。今期は市場への依存リスクを減らす方針で戦略を更新しており、これにより、これまでの期末に業績が偏重する傾向は大きく緩和され、通期の業績の不確実性は例年よりも大幅に軽減できるものと考えております。

その上で、今期末時点の赤字の実力値として5.9億円とご説明いたしましたが、来期はその水準からスタートできる見込みです。さらに、今期の成長率を維持するという前提のもとでは、来期は売上でおおよそ10億円超、赤字は3億円から4億円程度に圧縮するといった数値感を持つことは可能であると考えております。

3. 前期経常利益の急激な悪化について、事業や財務への影響はありませんか？

経常利益の変動要因といたしましては、営業外収益と営業利益の増減が大きく影響しております。

営業外収益の大部分は為替差損益によるものとご説明しておりますが、これはグループ内の債権債務の相殺から生じる会計上の理論値であり、キャッシュフローや事業そのものへの影響はございません。

一方で、営業利益につきましては、事業の収益性を表す重要な指標として捉えており、引き続き注視し、改善を図ってまいりたいと考えております。

4. 今期の収益構造の改善の、組織の最適化による固定費の削減1.5億は、具体的にどのような削減を行うのでしょうか？

現状のご説明といたしまして、前期にソリューション事業の拡大に対応できる人員体制を強化し、十分な体制を構築できたと認識しております。その結果、組織構造上、一部重複した役割を含め、組織体制が重くなった部分が生じているのが現状です。

これに対し、今期検討している施策としましては、まず人員の削減がございます。最新の事業戦略上、コアの開発業務でない部分において、一部エンジニアの削減を考えております。

もう一つは、エンジニア業務の移転です。現状イギリスで大部分の業務を行っておりますが、為替や物価の影響でコストが大幅に上昇しております。そのため、価格競争力を維持しつつ、同等以上のクオリティを確保できる日本などの他地域へ一部業務を移管することを検討しております。

これらの施策を進めることにより、短中長期ともに業務に支障のない範囲で、コスト最適化の余地があると考えております。

5. 前期は顧客製品化件数が8件と進展したにもかかわらず、製品関連売上は+0.3億円にとどまりました。この乖離について、今一度ご解説をお願いします。

顧客製品化の伸びに対する製品関連売上の伸び悩みについてのご質問ですが、こちらは先ほどご説明申し上げました通り、当社が次世代ロボットに取り組んでいるため、ある程度市場を先行しすぎた側面があると考えております。

具体的には、市場の未成熟さやエコシステムの不十分さなどが挙げられます。例えば、当社はソフトウェアを提供しておりますが、主要技術となるセンサのコストは低下傾向にあるものの、実用的な価格水準にはまだ十分に達しておりません。また、AIの認識技術は当社の技術と組み合わせ、ロボティクス分野で多く利用されておりますが、実証的な運用におけるデータ蓄積が十分でないため、その性能に限界があるといった状況もございます。

これらの側面から、技術の導入や利用は緩やかに段階的に拡大していくものと想定されますが、将来的にはセンサコストの低下やAI認識精度の向上が十分に達成され、当社の技術も市場の成長加速に合わせて大きく伸びていくものと見込んでおります。現時点では期待に沿う形での大幅な成長には至っておりませんが、数年単位で大きく成長していくことを見込んでおります。

6. 空間知覚への拡張として、SW/HWパッケージの事業化を進めているとのことですが、従来のライセンスモデルと比較した収益性、利益率の違いについて、ご説明ください。

SW/HWパッケージの収益性についてですが、まず事業全体に占めるSW/HWパッケージの売上比率は、およそ半分かもしくはそれを下回るレベルを想定しております。

加えて、SW/HWパッケージの粗利率はおおよそ50%を超えると見込んでいるため、事業全体の粗利率は高い水準を維持できると考えております。

さらに、中長期的には事業全体に占める SW/HW パッケージの売上比率は減少していくと見込んでおり、これにより利益率を高め、維持していくことができるのではないかと考えております。

7. 今期は前年比+35%の売上成長を計画されていますが、中期（向こう 3～5 年）における年平均成長率（CAGR）の想定と、その前提となる事業ポートフォリオの構成比の変化について

成長率とポートフォリオについてですが、まず成長率につきましては、今期の 35%を維持、もしくはそれを上回るペースを想定しております。

また、ポートフォリオにつきましては、SW と SW/HW パッケージの比率に関しては、先ほど申し上げた通り、ソフトウェアの割合が伸びていくと考えております。

デジタルツインとロボティクスという 2 つの注力領域についてのポートフォリオは、中期的にはどちらも成長すると見通しております。

8. 現時点では赤字ですが、貴社が意識する中期的な EBITDA マージンのターゲット水準と、それが達成可能と考える時期について教えてください

当社の収益性指標として調整後営業利益を採用しておりますが、この数値の目線としましては、中長期では利益率の高いソフトウェア販売を中心に拡大し、一つの目安として 50%前後を目指しております。この達成時期については現時点で申し上げるのは難しい状況ですが、早期に売上成長と合わせてこれらの利益水準も改善させ、目標水準を達成できるよう進めてまいりたいと考えております。

9. 営業外の為替差損益における業績感応度（1 円変動当たりの収支変動など）は、どの程度でしょうか。

当社の為替感応度としましては、ポンド、ユーロ、米ドルなど複数の通貨の影響を受けており、一概に影響を申し上げることは難しい部分もございますが、目安としては 1 円の変動で 1 千万円から数千万円規模の営業外損益が発生する可能性があるかと認識しております。

ヘッジ方針等につきましては、現状の為替変動がキャッシュフローや事業への影響が僅少であること、また、当社の限られたリソースの中での業務負担とのバランスなどを考慮し、現時点ではヘッジなどの対応は行っておりませんが、今後の社内体制や為替状況を見ながら、今後検討すべき課題であると認識しております。

※決算説明の内容に関するご質問につきましては、下記の問い合わせ先にて頂戴いたします。
また、ご希望の会社様には、個別取材も承りますので、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

■会社概要

会 社 名：K u d a n 株式会社

証券コード：4425

代 表 者：代表取締役 CEO 項 大雨

■お問い合わせ先は[こちら](#)